

Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞記念展 開催中！



「身体性」や「ケア」について問いかける展覧会

東京都とトーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）は、2018年より中堅アーティストを対象に、受賞から複数年にわたる継続的支援によって更なる飛躍を促すことを目的とした現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award（TCAA）」を実施しています。7月7日（日）まで、第4回TCAA受賞者のサエボーグと津田道子による受賞記念展を、東京都現代美術館で開催中です。

展覧会概要

- 展覧会名： サエボーグ「I WAS MADE FOR LOVING YOU」／
津田道子「Life is Delaying 人生はちょっと遅れてくる」
Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞記念展
- 英語タイトル： Saeborg “I WAS MADE FOR LOVING YOU” / TSUDA Michiko “Life is Delaying”
Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 Exhibition
- 会期： 2024年3月30日（土）～7月7日（日）
- 会場： 東京都現代美術館 企画展示室 3F（東京都江東区三好 4-1-1）
- 開館時間： 10:00-18:00
- 休館日： 月曜日（4月29日、5月6日は開館）、4月30日、5月7日
- 入場料： 無料
- 主催： 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーアーツアンドスペース・東京都現代美術館
- 協力： TARO NASU
- ウェブサイト： www.tokyocontemporaryartaward.jp/

< お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

広報担当：舟橋、市川、中村

TEL：03-5245-1142 FAX：03-5245-1154 E-mail：press@tokyoartsandspace.jp

本展について

「I WAS MADE FOR LOVING YOU」と「Life is Delaying 人生はちょっと遅れてくる」というタイトルをそれぞれに冠し、サエボーグと津田道子の個展として開催しています。

■ サエボーグ「I WAS MADE FOR LOVING YOU」

主に劇場で行ってきたラテックスのボディスーツによるパフォーマンスを、展覧会として見せることを試みました。本展では、作品の軸となってきた人間と動物の関係性というテーマを土台にしながら、従来のサエボーグワールドとも言える玩具の牧場のような空間と、「ケア」の視点から新たに構想された儀式的な空間によって作品を構成しています。鑑賞者は本展のために制作された、弱った愛玩動物としての「サエドッグ」と、自身の関係性を見出すことにより、鑑賞者自身の「弱さ」や「力」に触れることとなります。会期中行われるパフォーマンスは鑑賞者との交流を経て変化し続けます。

■ 津田道子「Life is Delaying 人生はちょっと遅れてくる」

自身の幼少期に、ビデオカメラが家に来て最初に撮影された家族の出来事から着想した新作《カメラさん、こんにちは》(2024)では、12人の俳優によるホームビデオの再演によって、何気ない風景から見えてくる家族の役割や社会的立場づけに対する思い込みを露わにすると同時に、ごく個人的なビデオに映る特定の人物が、誰のこととしても受け取れるように開かれています。家の中でのさまざまな所作を振付化した《生活の条件》(2024)、その場で起きる出来事を時間差で見せる《振り返る》(2022/2024)などとともに、鑑賞者も含めカメラの視点を通して見え隠れする人々のしぐさから、自身のふるまいや固定化された立ち位置を客観視させるような作品構成になっています。

関連イベント

■ サエボーグ

ラテックス製の犬の着ぐるみ「サエドッグ」によるパフォーマンスを開催しています。

時間：[平日] 1日2回（各回1~2時間程度）

[土日祝] 開館時間中、常時実施しています。

会場：企画展示室 3F サエボーグ 展示エリア

■ 津田道子

東京都現代美術館がある江東区三好エリアとその周辺を作家と共に走るランイベントを開催します。

会期中には、さまざまなプログラムを開催予定です。

※開催内容や申し込み方法などの詳細は、決定次第 TCAA ウェブサイトにてお知らせします。

モノグラフについて

作品画像、作品や制作についての作家のテキスト、専門家による寄稿を掲載した各出展作家のモノグラフを2024年7月に発行予定です（非売品）。

モノグラフの一部はPDFデータとしてTCAAウェブサイトにて公開します。ウェブサイトではサエボーグと津田道子のほか、これまでの受賞者のモノグラフもご覧いただけます。

また、希望者への郵送配布を行う予定です。配布方法等の詳細は、TCAAウェブサイトでお知らせします。

<https://www.tokyocontemporaryartaward.jp/publication/>

展示風景 Photo：高橋健治



1. サエボーグ
《I WAS MADE FOR LOVING YOU》2023-2024、インスタレーション



2. サエボーグ
《I WAS MADE FOR LOVING YOU》2023-2024、インスタレーション



3. サエボーグ
《I WAS MADE FOR LOVING YOU》2023-2024、インスタレーション



4. サエボーグ
《I WAS MADE FOR LOVING YOU》2023-2024、インスタレーション



5. 津田道子
《生活の条件》2024、映像、鏡、木、スクリーン、音



6. 津田道子
《振り返る》2022/2024、鏡、木、ソフトウェア、カメラ



7. 津田道子
《カメラさん、こんにちは》2024、映像、撮影セット、カメラ、ソフトウェア



8. 津田道子
《カメラさん、こんにちは シングル・チャンネル・バージョン》2024、映像、4分

広報用画像は、ARTPR からダウンロードしてご使用いただけます。
下記 URL よりログインの上、ご利用ください。(初回のみご登録が必要です)
<https://www.artpr.jp/prs/tcaa2022-2024>

※この他にも広報用画像を用意しております。広報担当までお問い合わせいただくか、ダウンロード用 URL よりご確認ください。

Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞記念展 展示風景
広報用画像申込書

Email : press@tokyoartsandspace.jp

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください。下記の URL からダウンロードも可能です。)

1 2 3 4 5 6 7 8 TCAA 2022-2024 ロゴマーク

TCAA 2022-2024 展覧会バナー ポートレート (サエボーグ 津田道子)

<https://www.dropbox.com/scl/fo/9atlyvqqvbj0ta5npt59j/h?rlkey=9z133uiho502u8g8jplwl9ppy&dl=0>

掲載媒体名 (特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他 ()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送 (月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail (画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

- ・ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。
- ・お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

- ・画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。
- ・画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1～2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。
- ・作品画像は、トリミングは可能ですが文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。
- ・提供した画像データは、使用後速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Webサイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。
- ・情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。
- ・取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Webサイトの場合は、掲載時にURLをお知らせください。

< お問い合わせ > ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース (公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 舟橋、市川、中村

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: press@tokyoartsandspace.jp